

2006年度 早稲田大学 第一文学部

日本史 解答

〔Ⅰ〕 弥生時代 <やや難>

問1オ 問2卑弥呼 問3イ 問4オ 問5イ 問6ア 問7ウ

問1・6・7が難問。問1はイを正文と判断した人が多いだろうが、『魏志』倭人伝にはけっして「三角縁神獸鏡」を与えたとは書かれていない。だからこそ、卑弥呼がもらった鏡をめぐる論争がおきているのである。また、問7は世界史の知識がそれなりにあれば解けるだろう。

〔Ⅱ〕 古代の都城 <標準>

問1大友皇子 問2ア・ウ 問3エ 問4長安(長安城でも正解)

問5条坊制 問6イ 問7オ 問8オ

問3・8がやや難しい。選択肢をよく比較して正解を導き出そう。こういう思考して解く問題が目立つのが早大日本史の特徴で、それを正解できる能力を高める学習が必要とされるのである。それは単なる用語暗記だけではできない。日本史を暗記科目ととらえている人は、認識を改める必要がある。

〔Ⅲ〕 中世の史料 <やや易>

問1文保 問2ア 問3高師直 問4国人 問5エ 問6播磨 問7エ

未見史料も含まれているが、十分判別可能で、全問正解も可能である。

〔Ⅳ〕 江戸時代後期の外交 <標準>

問1ウ 問2日本誌 問3ウ・エ 問4イ・エ 問5海禁(海禁政策でも正解)

問6印旛 問7ウ・オ 問8ア・エ

早稲田ではあまりに定番なテーマからの出題。ただし問3は難問、問6はやや難。

〔V〕 十五年戦争 <やや易>

問1ウ 問2イ 問3幣原喜重郎 問4イ・エ 問5オ 問6エ

問7内田康哉 問8盧溝橋 問9西安(事件) ※解答用紙には「事件」と書いてある

問10ウ 問11ミッドウェー 問12ア

問1・5の正誤問題は消去法で解く。一見細かそうに見えるできごとも、正確な時期を覚えていないと対処できないことがよくわかる問題である。早大入試対策として近現代を細かく学習することは必須である。

〔VI〕 古代～近代の美術 <易>

1(1)オ (2)ア (3)長谷川等伯 (4)雪舟

2(1)ウ (2)ア (3)高松塚古墳

毎年、最後の大問は文化史と決まっているようだ。ただし、それほど難しい問題はなく、図版も有名なものをチェックしていれば解けるようである。

講評

第1問に非常に難しい問題がいくつもあるため、全体に難しくなった印象を抱くが、逆に文化史の大問が非常に易しいため、昨年よりやや難しくなった程度である。さすがに昨年レベルの問題では点差がつかなかったのだろう。